

P100402

R02
B-R02-1/1

2012年12月03日

「認証組織に関わる OASIS 管理規定」の新規掲載のお知らせ

下記の通り、「認証組織に関わる OASIS 管理規定」を新規掲載しましたのでお知らせします。

記

1.対象文書

P100402_R02_121203_認証組織に関わる OASIS 管理規定

2.版及び改定年月日

版:R01

制定年月日：2012年10月31日

版:R02

改定年月日：2012年12月3日

3.規定の概要

BSK システム審査センターから認証を受けた航空宇宙品質マネジメントシステムの認証組織が、SJAC9104-1 に基づき、OASIS データベースに関して順守する事項を定めたものです。

この規定は、GQA00001「品質・航空宇宙品質マネジメントシステム認証ガイド」で引用されています。

認証組織に関わる O A S I S 管理規定

(公財) 防衛基盤整備協会
システム審査センター

改	Q	A	E	I	
					目 次
		A			1. 目 的..... 3
		A			2. 適用範囲..... 3
		A			3. 関連文書..... 3
		A			3. 1 上位文書..... 3
		A			4. 定 義..... 3
		A			4. 1 Online Aerospace Supplier Information System(OASIS)
		A			データベース..... 3
		A			5. OASIS データベース管理者の登録及び維持..... 3
		A			6. 組織の窓口情報の管理..... 4
		A			7. 組織情報の登録及び維持..... 4
		A			8. OASIS データベースへのアクセス権の付与及び審査の詳細の提供
		A			の管理..... 4
		A			9. OASIS データベースのフィードバックプロセス..... 5
		A			9. 1 フィードバックグループA(顧客から組織へ)..... 5
		A			9. 2 フィードバックグループB(顧客から認証機関へ)..... 5
		A			9. 3 フィードバックグループC(顧客への審査情報提供)..... 6
		A			9. 4 認定機関へフィードバック..... 6

改	Q	A	E	I	
		A A A A A			<p>1. 目的</p> <p>公益財団法人防衛基盤整備協会システム審査センター（以下、BSK システム審査センターという。）から認証を受けた航空宇宙品質マネジメントシステム（以下「AQMS」という）の認証組織が、SJAC9104-1 に基づき、OASIS データベースに関して順守する事項を定める。</p>
		A A			<p>2. 適用範囲</p> <p>この規定は、AQMSに関する、OASIS データベースの管理に適用する。</p>
		A A A A A			<p>3. 関連文書</p> <p>次の文書は最新版を適用すること。</p> <p>3. 1 上位文書 SJAC9104-1 航空、宇宙及び防衛分野の品質マネジメントシステム認証プログラムに対する要求事項</p>
		A A A A A A A			<p>4. 定義</p> <p>4. 1 OnLine Aerospace Supplier Information System(OASIS)データベース</p> <p>業界による監視制度(ICOP)スキームを通してセクター管理委員会(SMS)によって承認及び認知されたインターネット上の IAQG が管理するデータベースであり、それは、各国の航空宇宙産業団体、認定機関、研修提供者承認機関、審査員資格証明機関、認定された認証機関、航空宇宙品質マネジメントシステム審査員、認証を受けている供給者及び審査についての情報を含んでいる。</p>
		A A A A A A A A A A A			<p>5. OASIS データベース管理者の登録及び維持</p> <p>(1) 組織は OASIS データベース管理者を設置しなければならない。</p> <p>(2) 組織は、初回審査の第2段階審査に入る前に、OASIS データベース管理者を特定し、OASIS データベースに登録しなければならない。また、組織は OASIS データベース管理者を継続して維持しなければならない。 【SJAC 9104-1 6.7i)、12.3】</p> <p>注記1：組織が OASIS データベース管理者を特定し、OASIS データベース内で登録しない限り、認証機関である BSK システム審査センターは、認証書（すなわち、初回認証、再認証、認証の変更）を発行しない。【SJAC 9104-1 12.3】</p> <p>注記2：組織が OASIS データベース管理者を維持していない場合には、認証機関である BSK システム審査センターは、認証サイクルの期間中に認証を一時停止する場合、あるいは、再認証の認証書の発行を遅</p>

	A		<p style="text-align: center;">らせる場合がある。【SJAC 9104-1 6.7i)】</p> <p style="text-align: center;">(3) 組織の OASIS データベース管理者は、OASIS データベースの中で次のデータを維持しなければならない。【SJAC 9104-1 8.5e)】</p> <p style="text-align: center;">組織の OASIS データベース管理者の氏名と電子メールアドレス</p> <p>参考：OASIS データベース管理者の初回登録は、OASIS データベースの初回ユーザの登録完了後、JAQG の OASIS 担当に OASIS データベース管理者としての登録を依頼して行う。OASIS データベースの初回ユーザの登録手順は、JAQG ホームページ (http://www.sjac.or.jp/jaqq/) の FAQ を参照。</p>
	A		<p>6. 組織の窓口情報の管理</p> <p style="text-align: center;">(1) 組織の OASIS データベース管理者は、OASIS データベースの中で組織の窓口情報として、次のデータを維持しなければならない。【SJAC 9104-1 6.7i)、8.5f)、附属書 C 注記 3】</p> <p style="text-align: center;">該当する場合、組織の連絡窓口担当者の氏名、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス、ホームページアドレス</p> <p>参考：組織の窓口情報の管理手順は、JAQG ホームページ (http://www.sjac.or.jp/jaqq/) の FAQ を参照。</p>
	A		<p>7. 組織情報の登録及び維持</p> <p style="text-align: center;">(1) 組織の OASIS データベース管理者は、OASIS データベースの中で次のデータを維持しなければならない。【SJAC 9104-1 6.7i)、8.5f)】</p> <p style="text-align: center;">組織の名称、住所及び認証に含まれる所在地</p> <p style="text-align: center;">(2) これらのデータを改訂する際には事前に認証機関である BSK システム審査センターの承認が必要である。【SJAC 9104-1 6.7i)、8.5f)】 なお、BSK システム審査センターが発行する、審査計画書、審査報告書(暫定版)、審査報告書、認証書等の文書に記載されたデータの通りデータを改訂する場合は、BSK システム審査センターの指示によるものであり、承認が得られたものとみなす。</p> <p style="text-align: center;">(3) OASIS データベース中のデータ区分「組織」の正確さに対する責任は、そのデータを誰がインプットしたかに関わらず、「組織」にある。 【SJAC9104-1 12.5】</p> <p>参考：組織情報の登録手順は、JAQG ホームページ (http://www.sjac.or.jp/jaqq/) の FAQ を参照。</p>
	A		<p>8. OASIS データベースへのアクセス権の付与及び審査の詳細の提供の管理</p> <p style="text-align: center;">(1) 組織の OASIS データベース管理者は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織に関連する、OASIS 利用者 ・データベース内での組織の審査結果への外部からのアクセス

A A A A A A A A A A A A A A A A A		<p>を管理しなければならない。【SJAC 9104-1 6.7i】 その際、OASIS 利用者/アクセス管理台帳等により、OASIS 利用者、アクセス提供期間、アクセス目的、アクセス対象を明確にすること。</p> <p>注記：審査の詳細は、組織がアクセス権を与えたユーザーに対してのみ、OASIS データベースの中で提供される。この情報は、IAQG のメンバーが競争上の優位の目的のために使用してはならないことになっている。【SJAC 9104-1 8.5d】</p> <p>(2) 正当な理由（例えば、競争上の秘密事項、利害抵触）が提供されない限り、AQMS 規格に対して認証された組織は、顧客及び潜在顧客から要求された場合、審査報告書及び関連する文書/記録のコピーをその顧客及び潜在顧客へ提供しなければならない。組織は、顧客に OASIS データベースを通してこのデータへのアクセスを提供してもよいし、審査報告書を直接提供してもよい。【SJAC 9104-1 8.5g】</p> <p>(3) 組織の顧客／潜在的な（将来顧客になる可能性のある）顧客／監督官庁／JAB／JRMC／IAQG OPMTには、OASIS データベースを通してこのデータへのアクセスを提供することができる。組織の顧客／潜在的な（将来顧客になる可能性のある）顧客／監督官庁／JAB／JRMC／IAQG OPMT以外には、文書（電子メールを含む）によるBSKシステム審査センターの同意がない限り、OASIS データベースを通してこのデータへのアクセスを提供してはならない。</p> <p>参考：OASIS 詳細データの開示レベルの設定方法は、JAQG ホームページ（http://www.sjac.or.jp/jaqq/）のFAQを参照。</p>
A A A A A A A A A A		<p>9. OASIS データベースのフィードバックプロセス</p> <p>組織の OASIS データベース管理者は、OASIS データベースフィードバックを以下の通り管理しなければならない。【SJAC 9104-1 6.7i】</p> <p>9. 1 フィードバックグループA（顧客から組織へ）</p> <p>組織は、OASIS データベースのフィードバックグループA（顧客から組織へ）があった場合、マネジメントレビューへのインプットの「顧客からのフィードバック」に OASIS データベースのフィードバックグループAを含めなければならない。</p> <p>9. 2 フィードバックグループB（顧客から認証機関へ）</p> <p>組織の顧客からBSKシステム審査センターに対し、フィードバックグループBによる情報があり、その内容が認証組織に関係する場合、BSKシステム審査センターは認証組織にフィードバック要求の写しを送付し、必要な事項を依頼する。組織はBSKシステム審査センターからの依頼に対し協力しなければならない。</p>

	A		<p>9. 3 フィードバックグループC (顧客への審査情報提供)</p> <p>認証を受けた組織は、OASISデータベースに登録されている認証の詳細及び審査結果(例えば、審査報告書及び関連するNCR)に対する電子的なアクセス権を与えることができる。このアクセス権は、組織が決定し、要求を受けて組織が選んだユーザー、契約で要求された顧客又はすべてのデータベース登録ユーザーに与えることができる。 【SJAC9104-1 14.4】</p>
	A		
	A		
	A		
	A		
	A		
	A		<p>9. 4 認定機関へフィードバック</p> <p>「すべてのステークホルダーは、OASISデータベースのフィードバックプロセスを使用して、認定機関へフィードバックを行うことができる。このフィードバックには、認定機関パフォーマンス、苦情又は他の問題/懸念事項を取り扱ってもよい。【SJAC9104-1 14.5】</p>
	A		
	A		
	A		
	A		
	A		
	A		
追	A		<p>10. JAQGのIAQG-OASISデータベース管理者の連絡先</p>
追	A		<p>JAQGのIAQG-OASISデータベース管理者の連絡先を以下に示す。</p>
追	A		<p>〒 107-0052</p>
追	A		<p>東京都港区赤坂1丁目</p>
追	A		<p>NOF溜池ビル 2F</p>
追	A		<p>一般社団法人 日本航空宇宙工業会</p>
追	A		<p>JAQG 事務局</p>
追	A		<p>Email: jaqg@sjac.or.jp</p>
	A		<p>附則 本規定は、JABの認定完了日以降適用とする。</p>